岡山大學新聞

発行所
岡山大学新聞会
岡山市津島中岡
山大学学友会内
電 52－1111
（内）791
振替　岡山5282
編集兼
発行人　土屋 勝
一部 70円

3・26戦士
学友ら奪還さる

一年余りの獄中闘争を貫徹
戦線復帰を力強く宣言

昨年三月二六日の三里塚空港開港阻止総力決戦を闘い、逮捕、勾留されていた戦士達の中、第八ゲート突入戦と横堀要塞の一部が、一年余りの獄中闘争を貫徹し、このほど釈放を克ち取った。

岡大学友四戦士も、管制塔占拠の成田二一六一号を除く三人、成田二一八八号（法文5回生）成田二〇七五号（法文5回生）、成田二一〇五号（医学部卒）が奪還された。

三人とも長い獄中闘争で色は白くなっているものの極めて元気で、断固戦線に復帰し抜く事を宣言した。

3・26戦士らに対するこの一年余りの長期勾留は、同程度の事犯からして約二倍もの異常な長さであり、正に3・26戦勝利に対する権力の不当な報服である、と言えよう。

また保釈金も一人百二十万円前後、と極めて高額であり、経済面からも反対運動に攻撃を加えんとするものである。

昨夏、「被告団の分断を計らんと」弁護士らの抗議をも無視して千葉拘置所から東京拘置所への移送が被告一人に看守数人がかりで暴行を加えつつ強行された。

さらに司法の反動化を露骨に表わした東京地裁は分離裁判、月三回のスピード審理を押しつけて来ている。公判に於いても裁判長は強権を発動し、被告、弁護士、傍聴人への退廷命令を乱発している。それも「笑った」とか、人違いで退廷されるのに抗議したとかいう「理由」でである。

我々は今後、成田二一六一号を始めとする残りの同志の早期奪還を克ち取り、公判闘争を支援して行かなければならない。

そして彼らの貴重な闘いに応える為にも、偉大な、3・26闘争の地平を共有し、学内戦線の再高揚を、そして三里塚空港廃港を克ち取らねばならないだろう。

東大文学部ストに突入
2・14機動隊導入、不当逮捕に抗議

東大百年記念募金反対、学生処分復活阻止を闘って来た東大文学部学友会（自治会）は、2・14機動隊導入、学友不当逮捕、当局の団交拒否に対し、四月一日から二〇日間のストを展開している。一方、三月二七日、当局は処分策動が行い得なくなった事を表明した。

文学部では昨年九月の文学部長室火災事件を理由に学生処分復活をはかる当局と学生の間で対立が続き、処分によって学生運動を弾圧しようとする当局の態度に学内外で批判が高まり、当局の処分進推の動きは行きずまっていた。

一月十八日、東大文学部学友会、京大全学自治会同学会、同志社大学友会中央常任委の呼びかけで「新大管法―4・20通達粉砕、学生処分復活阻止、東大闘争十周年1・18全国集会」が安田講堂前で開かれ、全国から六百名の学友が結集、岡大からも北津寮運営委を中心に六名が参加した。この集会において、4・20通達実質化攻撃の集大成、新大管法攻撃の突破口でもあるこの処分攻撃を全国の学友と共に断固粉砕して闘う事が確認された。

このような闘争の高揚の中で、学生処分が絶望的と見た大学当局は、二月十四日、文学部ホール自主管理闘争を行っていた学友に対し、「不法占拠」を理由に機動隊を導入、機動隊はホールの外に出たデモ隊に襲いかかり暴行を加え、さらにこの時、教職員の指示を受けて、学友会委員長他二名の学友を不当逮捕した。

この逮捕は十二月二六日の今道文学部長「暴行」事件、という当局の告発によるものであった。

この機動隊導入、学友不当逮捕、文ホールロックアウトという国家権力と一体となった当局の弾圧は、より一層学生の危機感を高める結果となった。

二月二三日開かれた臨時文学部学生大会は、春休み中にもかかわらず二百四十名の参加者を得て成立し、文教授会に団交要求、三学友の即時釈放要求、春休み中の安田講堂前テント闘争貫徹、ストライキ権確立を決定した。

三月八日、権力は三学友のうち二名を釈放したが残り一名を不当起訴し、また文学部当局が団交を拒否した為、文学部は学大決議に基づき、ストに突入した。

権力機動隊による六九年の東大闘争圧殺と、当局―民青の「確認書」によるギマン的「正常化」より十年、東京大学では確実に新しいうねりが生まれている。

共通一次初年度
岡大一八五五人合格

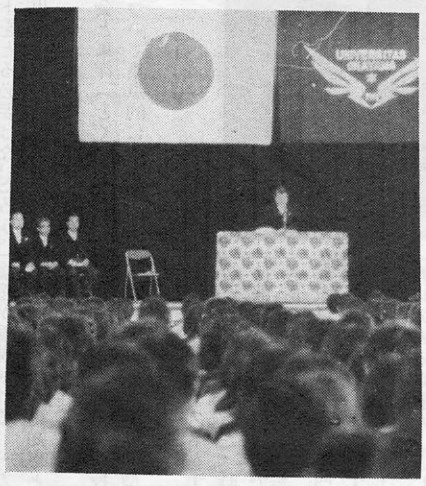
三月十六日国に、岡山大学五十四年度合格者が岡大構内で発表された。今年は共通一次初年度であり、二次試験の傾向の変化、合格者の現浪比など様々な面で注目された中での入試だった。

今年度合格者数は、各学部ごとにみると、法文学部四三三人、農学部百四十人、教育学部四五十人、工学部三五八人、理学部百二四人、医学部百二一人、薬学部八四人、法文Ⅱ部百四四人で前年度より、工学部法文学部以外はすべて減っており、総数で二七人少ない、千八五五人となっている。

岡山大学五十四年度入学式は、四月九日九時三十分より行なわれ、学長式辞、入学許可、学部長教養部長紹介等が行なわれた。

式後は、教養構内で各サークルによる新入生勧誘がさかんに行なわれ、天候のよかったせいもあって、学生がキャンパスにあふれていた。

なお、入学式直後に清水記念体育館前で、右翼生学連―生長の家による勧誘扇動が行なわれているのを学友らが発見、直ちに糾弾が行われた。（関係記事⑤面にあります。）



4月8日清水記念体育館

■紙面紹介■

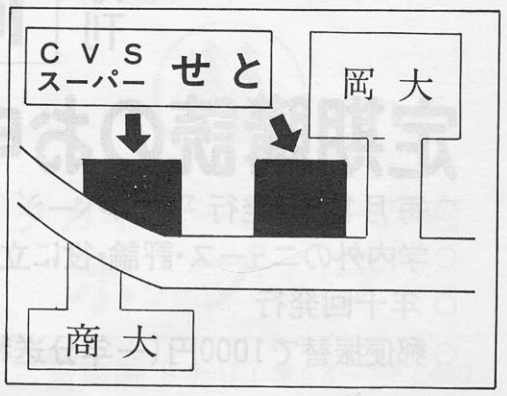
新入生特集号
二、三面　教養科目紹介
四　面　自ら学ぶ姿勢を
岡山イラストマップ
五　面　ニュース
六　面　原発は安全か
（全6ページ）

岡大人事

退官転任【法文学部】後藤猟士教授　大響亮教授【教育学部】宮脇理教授　守屋勝太教授　三宅守一教授【医学部】服部茂夫教授　池田久男助教授　武田佳彦助教授【教養部】南条正明教授　安田正二教授【工学部】藤塚和助教授【教育学部】奥野茂夫教授　高橋敏雄助教授　岸田喜一教授　石井利雄教授　松井利彦教授　清水国夫教授　難波良司教授　熊本高工教授　南本義一助教授　實成文彦助教助【理学部】佐藤亮太郎教授【薬学部】綿矢有治助教授【教養部】福井栄一郎教授　笹野完二助教授　高田恒夫教授

新任【法文学部】高橋輝

怪針

▼**ミンセイ**　北キャンパス西端に巣食う一種の宗教団体。聖地は東京の某マンモス予備校の近くにあるそうだ。「友達のいないキミ、恋人の欲しいアナタ」と誘い込み、歌って踊って「ヨーキュージッゲン　ボーリョクイッソウ」を唱える。花売りならぬ新聞販売を生業としている。▼**チューカク**　昔の栄光今いずこ、十年前には岡大最大勢力だったと言うのに、この項じや夜中にステッカーと立て看を残して去って行く。時々ヒロシマからバスツアーで来る。▼**プロセイ**　今でも街には多勢いるみたいだけど、学生さんは管制塔まで登ったりしてパクられちゃうし、それにノンセクトぶるので実体は不明　▼**キョーセイ**　アルバニアがどうのこうの言って、ビラではいろいろ書いていても全学集会なんかには決っして出て来ない。何をやっとんじゃ？　▼**ロウセイダン**　天安門が変われば自分らの言う事もコロコロ変る無方針な連中。学内でもアホな事ばかしやって皆んなからアイソをつかされ、十人減り、二十人減最後の一人もいなくなったとさ　▼**ホクシンリョウ**　明治時代の建物に住み、六高の伝統と全共闘の零囲気を守っている。寮歌とインター、学ランと黒ヘルをこよなく愛す。

CVS スーパー せと
下宿用品奉仕中!!
津島店（岡大入口）■朝9時から夜2時まで営業
笹ケ瀬店（商大前）■朝9時から夜9時まで営業
〈取扱品目 肉 魚 青果 食品 日用雑貨 週間誌 等〉